

中部大学 自己点検・評価だより

Self Evaluation Newsletter

2022.4.26



創刊号

日頃より自己点検・評価にご協力いただきありがとうございます。

2021年度の自己点検・評価の中から、皆さんとぜひ共有したい Good Practice をご紹介します！

すべてを紹介しきれないのが残念ですが、中部大学のそれぞれの教育・研究・事務組織等で、学生の日々の生活を良くするため、卒業後の未来のため、そして地域社会に根付いた大学にするために様々な努力がなされています。

これらの Good Practice はその生きたヒントです。

定期的に自己点検・評価をすることで良い取り組みを再確認し、ステップアップするための改善案を生み出し、新しい発想に至ることができれば、さらに愛される「私たちの中部大学」になっていくのではないのでしょうか。

今回ご紹介した Good Practice だけでなく、自組織の自己点検・評価シートを活用し、より良い大学づくりに役立てていただければ嬉しく思います。

大学評価推進部 杉井 俊夫

2021年度 自己点検・評価の結果における Good Practice (ピアレビュー報告書より)

経営情報学部

基準7 学生支援

「全学で実施されているインターンシップのほか、学部の専門科目である「自主活動A・B」を設置しており、学部独自でインターンシップ先を開拓し、2・3年生向けに課題解決型のインターンシップを実施している。学部独自のキャリア支援行事として、2019年度ビジネスマナー研修を学部2・3年生対象に実施した。」



「『お客様満足業』を体験しよう」「プログラミングを通してIT業界を知ろう」等のテーマ設定を行うことで、個別の学修ニーズに応じた実習先の選択を可能としています。

生命健康科学研究科

基準4 教育課程・学習成果

「2019年度から研究科内で行われる授業について、授業後アンケートを取ることにした。結果の分析・授業の改善は今後の予定であるが、改善のための状況を把握する対応を進めていることは評価できる。」

アンケート項目は「シラバスとの整合性」「レベル設定の適切性」「今後の研究や専門性との関連性」等と自由記述で、率直な意見を書いてもらうために無記名により実施しています。



生命健康科学部

基準4 教育課程・学習成果

「一部実習科目でルーブリック評価を活用し、ルーブリック評価の実践に向けてFD活動を通じて学部全体で取り組んでいる。」

学部FD研修会で、参加者自らが持ち寄ったシラバスを基にルーブリック表を作成した後、グループワークによる議論や相互評価を行いました。



人間力創成総合教育センター

基準7 学生支援

「留学経験をもつ上級生をスチューデントアシスタントとして起用し、受講生にとっても励みになるような学習支援を実施している。」



初修者の多い「韓国語入門Ⅰ」では派遣留学参加者をSAに起用することで、在学中にどの程度まで上達できるかのイメージ形成に繋がっています。

2021年度自己点検・評価の結果はこちら→



活動報告

2020年度機関別認証評価を受審、適合と認定

本学は2020年度に大学基準協会の認証評価を受審し、適合認定を受けました。

この評価結果において、1件の長所と2件の改善課題が付されました。

大学基準協会の評価結果はこちら→

本学の評価結果は『2020年度「大学評価」結果』2ページにあります。



大学基準協会 認証評価結果と提言の推移

	2021	2020	2019	2018
受審大学数	49	39	30	27
適合判定校	49	39	30	25
長所が付された大学	48	35	29	25
是正勧告が付された大学	27	22	16	15
改善課題が付された大学	47	36	30	25

↑ 本学該当箇所はココ！

過去4年間の大学基準協会の認証評価結果を見ると、ほとんどの大学に長所が付されていることが分かります。これは、認証評価が問題点だけでなく、優れた取り組みも探しだすことを意識しているからです。

大学基準協会ではホームページで受審大学の長所・特色を検索・閲覧できるようにしています。本学の長所も載っていますので、ぜひご覧ください！



←大学の長所・特色検索はこちら
何も記入せず一番下の検索ボタンを押すと、全情報が見られます。



是正勧告、改善課題については「用語の解説」をご覧ください。

認証評価は7年以内に一度の受審が「学校教育法第109条」で定められています。本学は次回、2027年度の受審を予定しています。

アドバイザー会議を開催

2021年11月30日に、愛知学院大学長、春日井市長をはじめ8名の学外者による外部評価、中部大学アドバイザー会議を開催し、委員より本学の改善・向上に繋がる貴重な意見をいただきました。

アドバイザー会議は本学のステークホルダーの意見を直接いただける貴重な場です。自己点検・評価では気が付かない点など、参考になりますね。

隔年開催のため、今回は2023年度に開催予定です。

お忙しい中、認証評価、アドバイザー会議にご協力いただき、誠にありがとうございました。



用語の解説



是正勧告と改善課題

認証評価では特に問題がある事項に対して提言が付されます。大学基準協会では**是正勧告**、**改善課題**と言います。

このうち**是正勧告**は抜本的な改善を必要とする重大な問題があると判断された場合の、言わばレッドカードです。

改善課題は**是正勧告**までではないものの、必ず改善が求められる事項に付されるイエローカードです。

同年度の受審校の中で**是正勧告**の平均数は1件（最多5件）、**改善課題**は2件（最多8件）でした。

是正勧告や**改善課題**は認証評価結果の通知から3年後までに「改善報告書」を提出しなければなりません。

本学は2つの**改善課題**について、2024年7月末日までの提出に向けて対応しているところです。



★大学評価クロスワードパズル★

①	⑧		②	A
	③C	⑨		
	④	B		⑩
⑤				D
⑥			⑦E	



答え A B C D E

ヨコのカギ

①	〇〇点検・評価の積み重ねが、組織の改善・向上に繋がります。
②	危険・危害を未然に防止する〇〇管理体制の整備は重要です。
③	多忙な日々から解放され、〇〇〇離れた生活にも憧れます！
④	本学も2020年度に受審し、適合判定を受けた機関別認証〇〇〇〇。
⑤	2021年5月、〇〇〇〇〇者差別解消法が改正され、大学も含めた事業者による「合理的配慮の提供」が、「努力義務」から「法的義務化」となりました。
⑥	ある領域の趣味・道楽について精通していること。
⑦	今の学生はみんなスマホを持っていますが、昔は電話と言えば一家に一台の〇〇電話でした。

タテのカギ

②	〇〇〇〇〇マネジメント＝大学が教育目的を達成するために行う管理運営のこと。3ポリシーに基づく改善がカギを握ります。
⑤	大学はPDC Aサイクル等を適切に機能させることによって、教育研究活動等の〇〇を維持し向上を図ることが大切です。
⑧	本学は教育機関として公的な責務を認識し、教育の一層の質的向上に挑戦し続けるとともに、社会に対して説明責任を果たすため、積極的に教育研究情報を〇〇〇〇〇〇しています。
⑨	大学や研究所などが発行する、研究論文や調査報告書などを載せた定期刊行物、学術雑誌。
⑩	冬の入試では、背中や腰に貼って使うこれが必需品です！



発行日 2022年 4月 26日

発行 大学企画室 大学評価推進部

内線 2381・2382 (大学企画部 大学評価事務課)

E-mail hvoka@office.chubu.ac.jp

創刊号

